

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公開番号】特開 2018-161328 (P2018-161328A)

【公開日】平成 30 年 10 月 18 日 (2018.10.18)

【年通号数】公開・登録公報 2018-040

【出願番号】特願 2017-60710 (P2017-60710)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 25 日 (2020.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の入賞口を開放させる開放遊技を実行可能な遊技機であって、

第 1 の演出手段と、

第 2 の演出手段と、

演出を制御可能な演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、前記開放遊技が実行された場合、前記第 1 の演出手段と前記第 2 の演出手段との両方に、前記開放遊技の実行回数を示す所定の表示を行わせることがあることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機であって、

前記第 2 の演出手段は、当該遊技機の前側を装飾する前枠部に設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機であって、

前記開放遊技には、所定数の遊技球の入賞が可能な第 1 の開放遊技と、前記第 1 の開放遊技よりも遊技球の入賞が困難な第 2 の開放遊技とがあり、

前記第 1 の演出手段に表示される前記所定の表示も、前記第 2 の演出手段に表示される前記所定の表示も、前記第 1 の開放遊技の実行回数を示すことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明の遊技機は、

所定の入賞口を開放させる開放遊技を実行可能な遊技機であって、

第 1 の演出手段と、

第 2 の演出手段と、

演出を制御可能な演出制御手段と、を備え、

前記演出制御手段は、前記開放遊技が実行された場合、前記第 1 の演出手段と前記第 2 の演出手段との両方に、前記開放遊技の実行回数を示す所定の表示を行わせることがあることを特徴とする遊技機である。